



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

まるがめ

# 週報

 会員数 58名  
欠席者

 出席者47名 欠席者19名 免除会員5名  
麻田・和泉享・後藤・加内・岸上・松山・中野昌・大山・松村-会員

前々回出席率 83.9% (10/14)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会長 谷本 順三  
幹事 石合 由明  
会報委員長 藤井 紀子

### お知らせ

#### 11月のプログラム

- 4 (No.1)-地区大会報告
- 11 (No.2)-客話
- 18 (No.3)-クラブフォーラム
- 25 (No.4)-客話

#### 他RC例会変更

#### ニコニコBOX;

よいことがありました  
齋賀君  
東ガバナーをお迎えて  
夏見君 秋山憲夫君 横田君  
谷本君 和泉君 石合君 眞鍋君  
丸亀RCの皆様よろしく申し上げます  
東ガバナー様

&lt;ニコニコ会計累積/ ¥145,000&gt;

#### がんばるBOX;

出席できなくて  
有家君  
記念撮影をさせていただきます  
高岡君

&lt;がんばる会計累積/ ¥41,000&gt;

例会場・事務局

丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F

#### ■会長挨拶

みなさん今日は、本日は東ガバナー公式訪問日となっています。まずはご訪問者の紹介をさせていただきます。東邦彦ガバナー、花岡通子ガバナー補佐、大塚和助地区代表幹事の3名の方々です。皆様、歓迎の拍手をお願い致します。お三方におかれましては先週22日、23日の地区大会の開催でまだお疲れも残る中、当クラブにご来訪いただき、有難うございます。また、地区大会が成功裏に終えられた事、おめでとうございます。コロナ禍での2670地区活動に関してはガバナー、ガバナー補佐、地区代表幹事は大変ご苦労されていると思います。この定例会の前に行われた会長・幹事懇談会においては貴重なご意見・ご指導等をいただきました。後日の例会において報告させていただきます。

ここで東ガバナーが所属されている中村ロータリークラブのホームページを拝見させていただきましたので後ほどのガバナーの卓話に影響がない範囲で紹介させていただきます。中村ロータリークラブは創立が1963年創立、高知では第4番目の設立です。四万十市中村に事務所があります。四万十市市はご存知のように高知の小京都と呼ばれる歴史のあるまちです。現在の会員数は51名、弊クラブとよく似たクラブ概要です。東ガバナー輩出も今回が初めて、また60周年が再来年と弊クラブの近年の事情と同様です。

さて、話題を変えますが、先日の地区大会において夏見会員がガバナー・ミニ・デジグネットに就任と発表されました。今後東ガバナー、花岡ガバナー補佐が所属する坂出東クラブはガバナー輩出の先輩クラブとして多くの事を教示いただく事になると思います。今後宜しくご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。本日は後ほど東ガバナーに卓話をいただきますので私の本日の例会挨拶は以上とさせていただきます。

#### ■例会事業;ガバナー公式訪問

東邦彦ガバナー様 花岡通子ガバナー補佐様、大塚和助地区代表幹事様

先日の地区大会は皆さま出席いただき誠にありがとうございました。またガバナー・ミニ・デジグネットの公募をいたしました。本クラブは会長名で夏見さんの名前を書いていたのですが、この地区は伝統として、地区大会の前に諮問委員会においてパストガバナーの承認が必要なのですが、みなさんとても好意的で1票の反対もなく、夏見さんは正式にデジグネットとなりました。デジグネット・ヒッターとは「指名打者」のことですが、ガバナー・ミニ・デジグネットとはいわゆるミニに指名されることが決まった方ということになります。私も中村ロータリーでははじめてのガバナーですが、夏見さんも本クラブでははじめてのガバナー・ミニ・デジグネットということですので、皆様、本当におめでとうございます。



地区大会において大塚代表幹事にもひな壇に上がってもらったのですが、これは大正解でありました。実は私がガバナーをお受けしたのも、大塚さんに代表幹事になっていただけたからです。ガバナーの仕事の半分は代表幹事にやっていただくこととなります。ガバナーは意思決定をすることが役割ですが、代表幹事には実務的に動いていただかなければなりません。そのためにはすべてを知っていただく必要があるのです。例えば、私は当地区の財政のことは一切知りません。地区のお金のことは代表幹事にすべてやっていただいています。ガバナーと代表幹事は車輪の両輪なのです。

(裏へ続く)

2021.10.28

Vol.59

No7

(2843)

昨今のことでもう1点、10月22日の日経朝刊に日本ロータリーがはじめて全面広告を出しました。古い会員の皆様方は、ロータリーはあまり外向けにPRをしない団体に映っているかと思えます。ただ最近では日本でも「ロータリーとは一体何者なのか」という世間の声が強くなりまして、RIとしても動き始めました。今回のパンデミックでもそうですが、地球は大きく変化しています。その意味でRIも変化していかねばならないし、皆さんのクラブも少しずつ変わっていったらいいということでもあります。

現在ポリオの発生件数はパキスタンで1件、アフガニスタンで1件です。ポリオも終わりに近くなったかという印象ですが、実は私たちの年度でひとつ変わったことがあります。今までのRIの重点項目は6つありました。そこに7番目として「環境保全」が新しく入りました。この「環境保全」はこれからRIが進む道を示唆していると思います。その意味もありまして、地区大会でも大会テーマを「悠久の流れ 四万十川」として環境保全をPRしたつもりです。そのような世界の動きもあり、環境保全はグローバルな補助金や地区補助金などが使いやすい項目となっています。

RIの最近の奉仕項目のひとつは「青少年のケア」で、ここに非常に神経質になっています。例えば、この前の東日本大震災の際、長期の交換学生の中で、特に原発の問題があることで本国から帰国要請があったときにその学生の行方が分からなくなったことがありました。この件は最終的には行方がわかり本国に帰国できたのですが、このような自然災害も含めた青少年のケアですね。

また「ハラスメント」の問題。指導者であるロータリアンのハラスメントは絶対にないように。これはRIとしては珍しいきつい罰則付きの項目です。もう一つはそれに派生しまして、この例会の中のハラスメントです。世界は訴訟社会になっており、どうしてもロータリアンはターゲットになります。厳に注意しましょう。

それと私たち、2670地区の目標は会員基盤の増強です。コロナと同時に痛めつけられたクラブのリベンジを行いたいと思っております。その中でも特に日本RIから言われていることは女性会員の増強です。本クラブは女性会員にも門戸を開いており、立派な女性会員がおられます。ただ世界の女性会員の構成比が24%なのに対し、日本は未だに7%です。これはRIからみれば、日本の特殊性と捉えられてしまいます。私たちのクラブは現在50数名の会員がいますが女性は4名です。いずれにしても女性が1名入ることにより、クラブに新しい風が入ります。女性独特の優しい心遣い、アイデア、実行力等、これらは男性にはないものです。日本のロータリーにはこのような女性の力が必要ですし、来年のRI会長はジェニファー・ジョーンズさんというカナダの女性です。これはRI始めて以来の女性の会長です。彼女が考えているのは、第1に「青少年のケア」、それと「女性会員の増」です。そのために彼女が会長になるといっても過言ではありません。私たちの年度はそういう意味合いがあることをご理解いただき、もっと女性会員に意識を向けていただければと思います。

こちらのクラブの話をしていただきます。出席委員会がございまして、「こんにちは」「お疲れ様です」が、こちらの出席委員会の合言葉のようです。非常に良いことだと思います。ロータリーはまず親睦から始まります。親睦とは「声掛け」から始まります。出席委員会のこの声掛けでとても心が和やかになります。これは伝統のある丸亀ロータリーならではのお言葉なのかと思います。ぜひ続けていただきたいと思っております。それと同好会があります。野球同好会があります、私共のクラブにも四万十川の環境保全の同好会と野球同好会があります。私たちの野球同好会はちょっと変わっておりまして、青少年の野球部の中に入っております。皆で応援し、皆で遠征費を出してというような活動しております。またこちらには日本酒の同好会、ゴルフの同好会があります。とても良いことです。同好会はクラブを活性化します。

最後に「Myロータリー」のことで、夏見さんが3年後にガバナーなる上で彼を助ける、そのキーはMyロータリーなのです。以前のロータリーの知識は「手続き要覧」というもので獲得してました。ただ今はMyロータリーです。これは世界のロータリーの動きを正確に知ることができます。まずは皆さんがロータリーの知識を深めることが、夏見さんを助けることになるのです。ロータリーの知識はそれほど難しいことではありません。「奉仕」「親睦」「多様性」「リーダーシップ」「高潔性」、これが基本の5つの中核用語です。これさえ守っていけば、どんなことでも会長の一存でクラブを変えていくことができます。変えることがすべて正しいことではなく、変えない選択肢もあります。それは御クラブの考え次第です。RIの指導方法も2000年までは「テーマに対する遵奉性や理解力」が中心でした。これが2000年以降は「特徴を持った多様性のあるクラブ」となりました。御クラブの60年の歴史は非常に大きな足跡です。今まで培ってきた奉仕活動を続けてもよし、これからの奉仕活動を変えてもよしです。

ガバナーはたった一人で、すべてのことを自分で決めなければなりません。いろいろな誘惑もあります。例えば、後進国からのビジネスのお話は毎日のようにあります。代表幹事も大変です。そのような私たちを支えるのは、やはりクラブの皆さんです。

ぜひ3年後に立派なガバナーが誕生できますように祈念いたしまして、私のスピーチを終わらせていただきます。ありがとうございました。